



2013 年度 語りの講座Ⅲ



「地域と伝統文化」教育プログラムでは4年間にわたり「語りの入門講座」を実施し、50名を超える語り手を養成してきました。奈良に伝わる仏教説話、鬼や龍の話から、悲恋や母子の人間愛の物語をレパートリーとする語り手たちは、奈良教育大学他で毎夏開催される絵本ギャラリーや大学図書館「絵本のひろば」で地域の子どもたちに奈良の民話を語ってきました。また、本学の学生・院生もその活動をサポートしてくれています。

今年度もそのような語り手たちや本学の学生・院生を対象に、語りの世界の面白さを堪能すると同時に語りのノウハウをさらに身につけて、「学ぶ喜び」を体験することを目的として「語りの講座パートⅢ」を開講することとなりました。

児童や生徒、子どもや孫に民話を語ってみたい方々の参加をお待ちしています。



◇ 日時： 火曜日午後2時～午後3時30分（下記日程）

10月15日・29日、11月12日・26日、12月3日・全5回開講

◇ 会場： 奈良教育大学 講義棟3階 308教室

◇ 講師： 本学名誉教授 たけはら たけしげ 竹原 威滋 語り手： むらかみ かおる 村上 郁

うえだ かずひろ
KCN放送事業部係長 植田 一宏

【申込期間】 9月25日（水）～10月4日（金） 【参加費】 無料

【申込方法】 FAX または e-mail で講座名・氏名・年齢・住所・電話番号・e-mail
アドレスを記入の上、下記に申し込んでください。

先着順とします。（定員50名）

【問い合わせ先】 奈良教育大学 青木智史研究室

Tel & Fax: 0742-27-9188 Mail: aoki@nara-edu.ac.jp

★ 詳しいシラバスは次ページを参照してください。

2013年度 **語りの講座 III** 火曜日 14:00~15:30

講師：奈良教育大学名誉教授 竹原威滋、語り手 村上郁

KCN放送事業部係長 植田一宏

場所：奈良教育大学 講義棟3階 308教室

★大学ホームページと下記のサイトを参照してください。

「奈良教育大学 伝統と文化 教育プログラム」:

<http://mailsrv.nara-edu.ac.jp/~aoki//project/projectop.html>

「竹原威滋のホームページ」: <http://web1.kcn.jp/takehara-folklore/>

「奈良民話祭り」ブログ: http://blog.goo.ne.jp/namin_2010

回	日程	テーマ	内 容
1	10月15日	語りを耳で聴くⅠ ヴィーヘルトの創作童話	国内亡命作家ヴィーヘルトの生涯 ヴィーヘルトの童話「魔女の子」 未来を担う子どもたちへの愛と平和のメッセージ
2	10月29日	語りを耳で聴くⅡ グリムの伝承童話と ヴィーヘルトの創作童話	伝承童話と創作童話の様式の違い グリム童話「灰かぶり」 ヴィーヘルト童話「あわれな娘」
3	11月12日	語りを本で読む 「子どもと家庭のための 奈良の民話」	原話資料からどんな話を選ぶか 原話をどのように再話するか 日常語で再話するとは?
4	11月26日	語りを映像で見せるⅠ ホームビデオを使って!	家の「眠っているホームビデオ」を使って見ませんか? 「映像」と言う文化が確立されている現代、生活の中に「映像表現」を取り入れてみましょう。
5	12月3日	語りを映像で見せるⅡ 映像を使った表現のしかた	「語りを映像で見せるⅠ」をベースに、自分の表現したい「映像」を考えながら実行してみる。

講義では村上さんの語りがあります。(「 」内のお話ほか)

プリント教材：適宜配布。

参考書：竹原威滋著『グリム童話と近代メルヘン』(三弥井書店)

青木智史・竹原威滋編『村上郁再話 子どもと家庭のための奈良の民話』
(京阪奈情報教育出版)

溝井裕一編『グリムと民間伝承 東西民話研究の地平』(麻生出版)